



お元気ですか！ 志村 たかよし です

第810号 2016年10月16日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

豊洲新市場開設は、どう見ても不可能な状況ではないか 中央区は「現在地再整備」に立ち戻るべき



区長に質問する私=9/20 本会議

前号からの続きです。
現在の状況をみると、豊洲市場は開場を延期すればオープンできるという状況でないことは明らかです。
立地条件の悪さ、貧弱な交通アクセス、物流動線の悪さ、使い勝手が悪い仲卸店舗、ろ過海水を流せない床、床の耐荷重の弱さ、建物の耐震性能や構造計算の違法性、不十分な土壌汚染対策、膨れあがった整備費、移転用地選定の不透明な経過など山積する問題の解決にどのくらいの時間がかかり、税金が投入されるのか、先の見えない状況です。
信頼を失った東京都のもとでは、

これ以上豊洲への移転計画を進めることは困難になったと言えるのではないのでしょうか。

その間、築地市場は長期間にわたって営業を続けることになり、早急な築地市場施設の耐震補強と改修が求められますが、10年、20年維持できる工事をすれば、豊洲への移転が中止になっても築地で営業を続けられます。

築地市場が移転してしまえば、地域経済に深刻な影響を与えるのは目に見えています。

この新たな情勢の変化のもとで、地元中央区が、原点に返って「移転反対」の立場に立つことは、小池都知事の背中を押し、築地市場を守る決定打になると確信します。

豊洲は市場にふさわしくない

Q. どの角度から見ても、豊洲新市場はあまりにも欠陥が多く、卸売市場にふさわしくないと考えるが。

* 区長答弁 *

「市場開設者である都の責任で適切に対応すべきものと考えている」

移転は不可能な状況ではないか

Q. 豊洲市場を使用することは不可能な状況で「移転中止」の可能性がたいへん強くなったと思うが。

* 区長答弁 *

「都知事は、新たな移転の時期は、できる限り速やかに判断すると話している。建物の地下空間の安全性について『専門家会議』での検証が待たれるところ」

現在地再整備の立場に立つべき

Q. 豊洲の施設と土壌汚染対策の安全性と信頼性が失われてしまった今、『合意』を破棄して、現在地再整備の立場に立つべき。

* 区長答弁 *

「引き続き都知事の判断を注視してまいりたい」

以上、3回に分けて質疑応答を掲載しましたが、私は、「築地市場移転反対」の立場に立たない区長を本会議で厳しく批判しました。

なお、裏面に「追跡 豊洲新市場」（赤旗記事）を連載します。

